



2007年7月27日
エム・シー・メディカル株式会社

News Release

<http://www.mcmed.co.jp>

デイサービス併設の健康増進型公衆浴場「新生湯」に 高濃度人工炭酸泉製造装置を納入

三菱商事株式会社の100子会社であるエム・シー・メディカル株式会社（本社所在地：東京都新宿区、社長：平野政良）は、東京都品川区旗の台にある公衆浴場「新生湯」（新井重太郎社長 TEL03-3781-3476）様に三菱レイヨンエンジニアリング社製高濃度人工炭酸泉製造装置「エクセルカーボ」を納入致しました。

閑静な住宅街の中にある同浴場は、午前9時から午後3時までは高齢者の「デイサービス（通所介護）センター」として、午後3時から午前0時のしまい湯までは通常の「銭湯」として営業する、というユニークなものです。現在、同センターへの登録者数は40名、一日最大15名の高齢者ヘリハビリや昼食のデイサービスを行っています。

今年の4月に全国初となる「健康増進型公衆浴場」としてリニューアルオープンし、その目玉設備として高濃度人工炭酸泉製造装置を導入いただきました。ほかに1周10分の「流水歩行プール」や強烈な水が噴出するヒップアップエステやボディシェイプ、サウナやウッドデッキなどが有り、さながらスポーツ施設を思わせるほどです。

高濃度人工炭酸泉の導入でデイサービスに来られる高齢者の方々にも上々の評判とか。銭湯へのお客様も従来の1.5倍増の盛況ぶりで、最近ではテレビや新聞などのマスコミからの取材も増えており、近くにあるレディース専門のフィットネスクラブや、糖尿病クリニック、内科クリニックから紹介されたお客様など新しい入浴客も増えている、とのことでした。

東京では公衆浴場が1,000軒を切ったという状況の中で、「健康増進型公衆浴場」はまさに生活習慣病予防対策の一つとしてうってつけの場であり、介護施設と公衆浴場のコラボレーションは「新しい銭湯のビジネスモデル」とも言えます。

「新生湯」ホームページ：<http://www.shinseiyu.jp/effects.html>



炭酸泉は男女各浴場に設置



昼は通所介護、夜は脱衣場に変身

◆ 本件問合せ先：エム・シー・メディカル株式会社

広報企画グループ 鈴木広明

☎(03)5330-7898 fax(03)5330-7869 <mailto:suzuki@mcmed.co.jp>